



4 | 8 昔ながらの遊びに興味津々^{しんしん} どさんこぴーひやらあそび組公演

劇団風の子北海道のどさんこぴーひやらあそび組の公演が、図書館で行われ、106人（子ども65人、大人41人）が昔遊びに触れました。

けん玉、コマ、お手玉の体験コーナーでは、あそび組の3人が、子どもたちにコツを伝授。けん玉が皿に乗ったり、コマが上手に回ったりすると、子どもたちから笑顔があふれました。

また、昔遊びをテーマにした演劇では、3人が難しい技を披露したり、息を吹き込まないで紙風船をふくらませたりして、昔から伝わっている遊びの楽しさを伝えていました。

4 | 13 地酒金滴にお墨付き 新酒鑑評会で金賞受賞

金滴酒造が製造する日本酒が、4月5日に札幌で開催された新酒鑑評会（札幌国税局主催）の「純米酒の部」で金賞を受賞しました。

受賞したお酒は、町の優良特産品にも指定されている北の純米酒の原酒です。

杜氏の川端慎治さんは「民事再生法適用後は製造を縮小していて、昨年10月に全量生産に戻ったばかり。レギュラー商品の中でも主力にしたいお酒が受賞したことは、大変喜ばしいことです」と受賞の喜びを語りました。





4 | 6 期待に胸膨らませ 新十津川小学校入学式

新十津川小学校で第4回入学式が行われ、52人（男子29人、女子23人）が、義務教育の第一歩を踏み出しました。

岩田稔校長は、式辞の中で「2つのお願いがあります。1つ目は、1人に1つしかない大切な命、かけがえのない命を絶対に無くさないでください。2つ目は、あいさつと返事をしっかりしてください」と、1年生に優しく語りかけました。

また、植田満町長は「お兄さん、お姉さんをお手本に、楽しい学校生活を送ってください」と祝辞を述べました。

4 | 22 同郷者の絆、固く

関東在住の新十津川町出身者でつくる徳富会の設立総会が、東京都内のレストランで開かれ、会員31人が出席しました。

徳富会は、同郷者の交流を深めることを目的として、昨年2月13日の会合を皮切りに活動をはじめ、このたびの総会で、会則制定や役員選出を行って、会員制の組織として正式に設立を迎えました。

総会には、植田満町長も招待され、故郷を離れて活躍する会員と杯を交わしました。



4 | 22 遡上願って放流500匹

身障福祉協会（美濃弘子会長）が、徳富川の河川敷でサケの稚魚放流を行い、60人が参加しました。

この行事は、サケの遡上を願って毎年この時期に行われているもので、今回で8回目。今年も、会員が卵から育てた稚魚500匹が川へ放たれました。

稚魚の飼育に携わった木村政勝さんは「9月15日を過ぎたころからサケが戻ってきます。橋の上や防災センター裏手で観察できますので、見に行ってください」と話していました。

